



まるごと吉野杉フェア『吉野杉伐採見学ツアー』

10月27日に『吉野杉伐採見学ツアー』が開催されました。

これは「川上の材PR運営委員会」が主催し、建築主となる家族などを対象に、樹齢100年を超える杉の伐採現場等の見学会を行ったものです。

吉野林業の歴史や特徴などについて言葉だけでなく、五感で感じ、良さを知ってもらえたと思います。(詳細 7ページ参照)

● 主な内容 ●

みんなでダム後の村づくり	2
第55回村民体育大会	4
吉野杉伐採ツアー	7
まんぞくガイド	8
図書館だより	9



広報かわかみ

平成24年11月10日発行

発行 奈良県川上村

編集 川上村広報編集委員会

〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7

TEL. 0746-52-0111

ホームページアドレス <http://www.vill.kawakami.nara.jp>

メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp

一、私たち川上は、かけがえない水がつくられる場に暮らす者として、下流にはいつもきれいな水を流します。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。)
(毎号1項目ずつ掲載していきます。)

みんな ダム後の村づくり

村長 栗山 忠 昭

シリーズ③ 2つのダムを活かし連携します。

本村には残念ながら国立の施設がありません。しかしながら私は、大滝ダムと大迫ダムはある意味、国立の施設と認識しています。

ご存知のように大迫ダムの所管は農林水産省。大滝ダムは国土交通省です。

地域に国の機関や国の施設があると言うことは大きな財産であり、貴重な地域資源であると言えます。それだけ地域の価値や値打ちがさらに付加されるものと思います。

大滝ダムの役割は多目的であり、洪水調節や利水（飲料水、工業用水）、それと発電です。一方、大迫ダムは農業が主な目的であり、発電もしています。

ダムはそれぞれに課せられた役割を果たすとともに地域との共生や連携は不可欠と考えているはずですが、水資源の確保を図りながら、環境保全にも取り組まれることは、本村にとっても望むところであります。水源地の村づくりを展開するにあたり、国の機関と思いを共有し連携できるほど村にとって恵まれたことはありません。

これらダムの存在は心強いものがあり、ダムの機能や役割はそのまま村づくりの中で大きな位置づけになります。まさしく共生・共存であります。この力強い“地域財産（資源）”である2つのダムを水源地の村づくりに活かしていくことが大事であり、そのために連携を模索したいと考えます。



大滝ダム（国土交通省）



大迫ダム（農林水産省）

《川上村役場総務税務課まで
ご意見などをお聞かせください。》

FAX 0746-52-0345

E-mail soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp



就任のごあいさつ



川上村教育長 弓場 盛正

この度、村長のご推挙と村議会のご同意をいただき、生まれ育った村、さらに教員として40年近く教鞭を執らせていただいた村の教育長に就任することになり、感激とその責務の重さに胸いっぱいだと思います。

もとより浅学非才の身、先輩諸賢には及ぶべくもなく、日を経るにつれお受けしたこと自体、軽率短慮を免れないのではと自責の念に駆られる毎日でもあります。しかしながら、お受けした以上、愛すべき川上村のために最後のご奉公と心得て、教育委員各位はじ

め多くの村民の皆様のご意見を拝聴しながら、長年の教職経験を役立て、より良い川上村の教育を構築し、推進して参る所存です。

へき地、過疎、少子化と教育課題は山積みしておりますが、一方でこの地域にも引けをとらない健気^げで、まじめで、質の良い子どもたちが川上村には育っております。

この宝物にさらに磨きをかけ、価値を高め、それを子どもたちの将来の幸せにつなぐことが私の責務と心得ます。

また、社会教育の面でも関係諸賢のご意見を拝聴し、教育委員会の担当者と共に皆様のご期待にそえる内容に整えて参ります。何とぞご理解・ご支援・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

年賀状の宛名書きお受けします!!

心を込めて毛筆で宛名を書かせていただきます。また、本文のパソコン印刷もお受けします。詳細はお問い合わせください。

【問い合わせ先】シルバー人材センター事務局 TEL 52・0300

(新)村づくり塾 塾生募集

募集期間 11月30日まで

いっしょに「ダム後の村」を創造しましょう。塾の運営はすべて塾生にお任せします。サポートは水源地の村づくり課が担当し、アドバイザーとして国家公務員や大学教授、会社役員、地域リーダーにも協力いただきます。

定員 20名

応募資格 村内に住所を有する方か村内の事業所に勤務している方。年齢、職業、性別等いっさい問いません。

期間 平成24年12月から1年間

場所 林業資料館もくもく館(西河)

内容 主に座談会形式で12回の開催。夜間に1回あたり2時間程度。座談会や学習会のほか、講演会や現地学習会も予定しています。

【申し込み・問い合わせ先】

役場水源地の村づくり課

TEL 0746-52-0111 FAX 0746-52-0345

E-mail suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp

川上村選挙管理委員会 委員の異動

川上村選挙管理委員会委員であった辰巳功氏が10月26日付けで退職したことに伴い、補充員の中から土井庄左エ門氏が委員となりました。今回の異動により、委員は次の方々となりました。(敬称略)

- 菊谷 孝雄 《委員長》
- 上平 賢次 《職務代理者》
- 大辻 哲二
- 土井 庄左エ門

川上村選挙管理委員会

教職員の人事異動 (敬称略)

◎異動(11月1日付)

- 川上中学校 村費講師 奥野 翔

2013年県民手帳の販売開始

ご購入は、役場または取扱店でお求めください。

価格 500円
色 黒・すほう色

【問い合わせ先】

役場総務課 TEL 52・0111

第55回 村民体育大会が開催されました



10月7日に、あきつの小野スポーツ公園（西河）で「第55回村民体育大会」が開催されました。今年もクイズやおみくじなどに挑戦しながら歩く「運だめしウォーク」やグラウンドゴルフ、ディスクゴルフなどの軽スポーツ種目が用意されました。ミズノスポーツサービスによる健康づくりコーナーやボランティア連絡協議会による炊き出し訓練なども実施されました。

右から受賞した松井さん（代理）、森口さん、川上ビッグボーイズ

開会式では、スポーツ奨励賞及びスポーツ特別賞、第5回川上村グラウンドゴルフチャンピオン決定戦の優勝者へ表彰が行われました。恒例となっている3B体操で準備運動を行い、参加者はさまざまな種目にグループまた個人で挑戦していました。

閉会式前には子どもから高齢者まで全員が参加する玉入れが行われ、楽しみながら競い合いました。

軽スポーツは子どもから大人までが楽しめ、一緒に運動することができません。まだ参加したことのない方は、ぜひ来年に参加し、是非とも挑戦してみてください。



大会の結果は次のとおりです。

《敬称略》

- ◎ **パターゴルフの部**
優勝 森内 忍（東川）
- ◎ **グラウンドゴルフの部**
優勝 杉本 久夫（西河）
- ◎ **ガラッキーの部**
優勝 上村 優美（井戸）
- ◎ **シャッフルボードの部**
優勝 中居 穂希（迫）
- ◎ **キックターゲットの部**
優勝 坂本 実絵（宮の平）
- ◎ **ペットボトルボウリングの部**
優勝 新宅 小百合（迫）
- ◎ **ディスクゴルフの部**
優勝 大前 一雄（東川）
- ◎ **運だめしウォークの部**
優勝 倉向 優宇（宮の平）

表彰は次のとおりです。《敬称略》

- スポーツ奨励賞**
松井 幸一（西河）
ウエイトリフティング85キロ級で平成24年度インターハイ（全国高等学校総合体育大会）に出場
森口 美由（西河）
第32回全日本バレーボール小学生大会に国栖フェアリーズとして出場
- スポーツ特別賞**
川上ビッグボーイズ
第22回世界少年野球大会で韓国選抜と対戦、第19回西日本学童軟式野球大会に出場しベスト16
第5回川上村グラウンドゴルフチャンピオン決定戦優勝
辰巳 元則（大滝）

なぞなぞを解きながら「運だめしウォーク」

丹生川上神社上社 例大祭

10月8日に、丹生川上神社上社（迫）で「例大祭」が執り行われ、約300名の参拝者が集いました。
 今回の例大祭では、五穀豊穡を願う黒馬が献上されました。これは室町時代の嘉吉3（1443）年より途絶えて以来570年ぶり、本村の復興を願って行われました。

望月康磨宮司が祝詞を奏上し、「浦安の舞い」を巫女が舞い、厳かな雰囲気の中で肅々と執り行われていきました。

祭典では、丹生川上神社下社から黒毛小馬の献上が行われ、中社



元境内の御神木で造られたテーブル

8月29日には、元境内の御神木で製作された「親子杉の輪切機」が奉納されました。元の神社を知らない人にも樹齢500年を超える大きな御神木が神社の歴史を感じさせます。



宮司・下社宮司が奉仕されました。その後の奉納行事では、詩吟（吟道哲水流八州吟詠会川上支部）、空手演武（極真会館吉野郡支部）、大正琴（はなみずき）、和太鼓（ちびっこ龍幻）が行われました。

丹生川上神社の由来

丹生川上の地は、日本書紀神武天皇即位前紀戊午年九月甲子の条に、「厳登」を造作りて、丹生の川上に陟りて、用て天神地祇を祭りたまふ」と記されており、上古より祭祀を行う聖域であったことが知られます。

天武天皇の御代白鳳4年（675）、「人の声聞こえざる深山吉野の丹生川上に我が宮柱を立てて敬き祀らば天下のために甘雨を降らし霖雨を止めむ」という神宣により、御社殿が建立、奉祀されました。それ以降、祈雨・止雨の神として奈良時代から室町時代に至るまで数10回の奉幣祈願がなされ、朝廷・国家また人々から篤い崇敬を受けてきました。

この里は
 丹生の川上ほど近し
 祈らば晴れよ 五月雨の空

後醍醐天皇が吉野の行宮に在らせられた折、当社に寄せて詠まれた有名な御製です。朝廷の奉幣にあたり、早魃の際の祈雨には黒毛の馬を、長雨の際の止雨には白毛の馬を奉るのを例としました。

平安時代の法令集「延喜式」で

は、名神社という特に靈驗あらたかな神社として月次・新嘗祭に際し官幣に預かり、神階は寛平9年（897）従二位に叙せられました。また、雨師社・雨師明神・丹生大明神とも称されました。

そして平安中期以降は、朝廷における最高の社格となる「二十二社」の一つに数えられました。

しかし、応仁の乱（1467）の後は奉幣も途絶えて衰微し、社地の所在も不詳となりました。

明治以降、御由緒の重きにより官幣大社として上社、中社、下社の三社が列せられました。

平安時代の御本殿基壇跡

県立橿原考古学研究所による大滝ダムに水没した元境内地の発掘調査の結果、本殿基壇の直下から数期にわたる神社関連遺構が検出。奈良時代後半から平安時代前期頃に祭場として意識され、平安末期から鎌倉初頭には社殿が建立。その後造替を繰り返して現代にまで奉祭され続けてきたことが明らかにされました。

《神社ホームページより抜粋》

水のつながりプロジェクト

10月11日に、水源地交流水田（檀原市）で川上小学校5年生の児童8名が稲刈り体験を行いました。

本村を源流として流れ出す吉野川（紀の川）の水は、吉野川分水により大和平野の稲作などにも活用されています。水の繋がりに「水のつながりプロジェクト」として、大和平野土地改良区の皆さんと協働で実施したものです。

この日は、稲刈りだけでなく、刈り取った稲を縛って干す作業も体験しました。

その後、児童から大和平野土地改良区の総代さんたちに、稲が実るまでの期間や作業機械、農作業など米作りについて多くの質問を交わされました。その中でも印象的だったのは、「お米作りには、土と水と太陽が重要。この原則が揃って、農家が肥料などを施して、農産物ができる。これはお米だけじゃなく、野菜も同じことです。」との総代さんの言葉でした。農業に不可欠な水の恵みの重要さが、児童にも伝わったのではないのでしょうか。

刈り取った稲の一部は小学校に持ち帰り、脱穀までの行程も学習します。また、この水源地交流水田で収穫されたお米120キログラムは「おかげ米」として本村に贈呈。小中学校の給食として子どもたちに提供されています。



稲刈りは大変な作業



初めての稲刈り体験

湊流

川上村に移り住み、早一年が経過しました。村の人達の優しい思いやりを身に受け、有り難く感謝しています。

川上村に来てあまり日もない9月の事。大きな台風12号に見舞われ迫の西谷橋の崩落がありました。道路を通ることができず迂回路通行で長い時間がかかったことを覚えています。その時は大変な騒ぎでした。そして、初めて経験する川上の冬の厳しさを知って、急きょ灯油を買いました。こうした冬の経験と寒さを知る驚きの連日でした。特に1月、2月は寒波が押し寄せ水道が凍結するため、夜は元栓を止め、翌日暖かくなってきたら元栓を開放し、水を用意しておく毎日の繰り返しでした。

私は川上村に来る以前から寺院研究とその歴史を調査することが好きで、ここ柏木の寺院の歴史に興味を持ち、寺の開基について調べだしたところ、川上村の歴史の古いことが分かりその調査に没頭しました。

柏木は今から1、113年前に宇多天皇が聖寶、益信という偉いお坊さんから戒を授かり法皇になりました。その後、柏木に来られ、御所を建てたことが分かりました。翌年の昌泰3年には大峯山に登られ、その25年後に吉野如意輪寺開基の僧・日藏上人が柏木に来られ、松雲寺を後醍醐天皇の勅により七堂伽藍の寺社を建立されました。また、その数十年後に空也上人が来られ十二社権現を9カ村に納めたとあります。このような調査活動が好きで村内の寺社を訪れています。時には不審者と怪しまれたこともありましたが、今では思い出となり、その日の記憶が脳裏によみがえります。その土地の風土、風習等も熟知して調査しているうちに、思わぬところでおつかる時もあります。そうした事であれば、書物の写しにしか過ぎません。記述をより正確に作り上げるためには足を運び、目で確認し、感じて、その根下にたどりつかねば意味がありません。残された人生の第二の故郷として、郷土の歴史を愛し、後世に資料を多く残せるように、今後も続けていきたいと考えています。

岡本 登

『まるごと吉野杉フェア・吉野杉伐採見学ツアー』

主催 川上きの材 PR 運営委員会

川上村森林組合・川上郷木材林産協同組合・川上産吉野材販売促進協同組合・川上村



10月27日に、『まるごと吉野杉フェア・吉野杉伐採見学ツアー』が開催され、33名が参加しました。これは、建築主となる家族や工務店等に本村へ来ていただき、吉野材・川上村の魅力を堪能していただくために企画しました。

このツアーでは、吉野林業独特の育林方法やその特徴から生まれる材の利用方法、それに関わる人々の情熱なども幅広く感じていただきました。

参加者はまず、林業資料館『もくもく館（西河）』で吉野林業の歴史や特徴、林業の現状について説明を受けました。

その後、伐採現場の山林（上谷）の樹齢100年を超える手入れの行き届いた美林へ移動。緊張が張り詰める伐採作業を見学しました。

①伐採現場となった森林（上谷区） ②吉野材を用いた素晴らしい和室（林業資料館もくもく館） ③伐採されたばかりの杉の断面を確認する参加者 ④川上さぶりで製材加工の実演を交えた説明 ⑤吉野木材協同組合連合会に並ぶ原木

続いて、山から出材された原木が並ぶ『吉野木材協同組合連合会（吉野町上市）』へ移動。連合会では前日に秋季選木市が開催され、多くの原木が並べられていました。直径の大きな大径木は主に建具や板などの用途に用いられることや、「近年の木材価格の低下によって消費者には高級な吉野材が利用しやすくなっている。」などいろいろな話が交わされていました。

その後、『川上さぶり（川上産吉野材販売促進協同組合・東川）』へ移動。原木を建築材として製材加工する現場を見学していただきました。さぶりでは、木材を乾燥するなどして含水率を一定以下に抑え、木材強度や品質確保を図っています。また、製材された柱などを鉋かんなかけたような表面加工も実施していました。

山にそびえる立木から製品まで一貫した流通過程を消費者である参加者に知っていただき、吉野材の良さを理解していただけたのではないのでしょうか。

川上の材PR運営委員会では、これからも吉野材の販売促進のために取り組んでいきたいと考えています。

～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわかみ満足ガイド

匠の聚

●来年の干支「巳」を彫る

と き 平成24年12月2日(日) 10:00～16:00

※制作終了次第解散

ところ 匠の聚 研修室

定員 20名 ※要予約、先着順

締切 平成24年11月27日(火)

受講料 3,500円 ※税込・材料費込

制作サイズは2寸、ヒノキ材を使用

《匠の聚 TEL 0746-53-2381》



山の学校 達っちゃんクラブ

★リース・つるかご・しめ縄作り

と き 平成24年12月8日(土)

定員 50名

参加費 大人2,000円 小人1,000円 幼児500円

山から集めてきたツルを使って、リース作りかご編みを行います。お正月用のしめ縄作りも行います。自分だけの素敵な作品を作ろう！

※締切は開催日の1ヶ月前。

※近鉄大和上市駅まで送迎あり。

★とちもち 栃餅作り

と き 平成25年1月19日(土)

定員 50名

参加費 大人2,000円 小人1,000円 幼児500円

栃の実がたっぷり入った、達っちゃんクラブ特製の栃餅と、いい香りのするゆず餅を一緒に作ります。大人も子どもも一緒になってお餅つき。

郷土食も作ってお腹いっぱい大満足イベントで、寒さなんて吹き飛ばそう！

※締切は開催日の1ヶ月前。

※近鉄大和上市駅まで送迎あり。

《もくもく館 TEL 0746-53-2929》

森と水の源流館

■源流学の森づくり

と き 平成24年12月1日(土) 9:30～16:30

参加費 大人 1,500円 (1,000)

小中高生 1,000円 (500)

※()内は源流人会会員割引価格

定員 7名 対象 小学5年生以上



「源流学の森」は20年ほど前に伐採され、再生しつつある天然林です。この森を立派な源流の森に戻すため、一緒に森づくりをしてみましょう。

《森と水の源流館 TEL 0746-52-0888》

ふるさと市開催日

【11月】17・18・23・24・25

【12月】冬期はお休みします

《役場地域振興課 TEL 0746-52-0111》

川上村内の風景・行事・自然・歴史などいろんな情報を日替わりで発信しています。是非ご覧になって下さいね！

QRコードを読み取って

携帯電話で「かわかみブログ」にアクセスしよう！

<http://blog.livedoor.jp/kawakamimura/>



図書館 だよ!



今年も「山幸彦まつり」で処分雑誌の販売を行います。ぜひご利用ください。

なお、11日(日)は臨時休館となりますので、ご了承ください。

今月のオススメ

『自然を生きる』

玄侑宗久・釈徹宗 著 / 東京書籍



2人の宗派の異なる僧侶が「縦と横」の社会づくりの必要性をテーマにし、また仏教・道教・儒教の世界観を取り入れながら語りあっています。「日本人として大切に守っていくべきものは？」を問いかけた対話集です。

東日本大震災の3週間前に福島で行われた対談をまとめています。

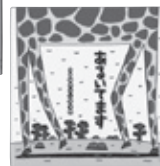
図書館カレンダー

●色の日が休館日●

	月	火	水	木	金	土	日
❖					1	2	3
11月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
❖	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

	月	火	水	木	金	土	日
❖							1
12月	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
❖	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

- ◇『水のかたち』上・下 宮本 輝 著 / 集英社
- ◇『失敗したって、いいんだよ』 志茂田景樹 著 / 青志社
- ◇『コリドラス・テイルズ』 齊藤 洋 著 / 偕成社
- ◇『あるいています』 みやにしたつや 作絵 / 鈴木出版



【問い合わせ先】 村立図書館 TEL 52-0144

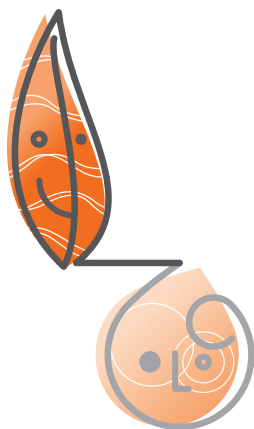
工学実感教室 大阪工業大学 工学実感フェア2012

10月27日に、川上中学校の生徒21名が「工学実感教室」と位置付け、大阪工業大学(大阪市)の工学実感フェア2012に参加しました。

このフェアは、子どもたちに科学のおもしろさや最新のテクノロジーを実感していただくこと、工学を中心に多様な分野で研究している同大学の教員と学生が企画・運営したものです。

生徒たちは日頃できない興味深い実験やモノづくりを体験し、楽しく充実した「工学実感教室」となりました。今後もこのような機会を活用し、生徒たちの学習や進路に対する興味・関心を高めていきたいと思ひます。





森と水の源流館だより

November, 2012 vol.119

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

残しておきたい川上村の山言葉 其の三十五

「バンダイ (盤台)」木材を ^{しゅうせき}集積 するために木で組んだ構造物。

※川上村の方言の意味や使い方などについてのご意見をお待ちしております。

10月の水源地の森



水源地の森。台風18号では丸太橋が飛ばされてしまうほど増水。

9月末に襲来した台風18号の影響で、三之公林道は通行止めに……。吉野川源流—水源地の森でも、すべての橋が飛ばされるなど大変でした。最近は、一度に降る雨の量が多くなったのか、このようなことが多くなりました。地球の温暖化とともに、このような豪雨も増えていくのでしょうか？

ますます、環境のことを考えて生活していかねばと思いました。



学校見学の様子

さて、10月には吉野川源流—水源地の森も含めて、村内の森ではミカエリソウが見頃を迎えました。森の中で、大型で目立つ薄紅色のこの花を見ると、「もう秋だな」と感じます。

ミカエリソウはその名の通り、その美しさに見返ってしまうところから名前が付いたと言います。しかし、その葉は、虫たちの好物のようです。たいていの葉はよく食べられて穴だらけになっていて、完全な葉っぱをみることは多くありません。人間はミカエリソウのお花を美的にとらえています。虫たちに

とっては、「花より葉っぱ」なのかもしれませんね。

10月は秋の遠足シーズンということで、多くの小学生が、森と水の源流館で森と水の大切さについて学びました。多くの子どもたちは、吉野川の下流、あるいは吉野川分水も含めた流域からの来館でした。

このような機会を通じて、大滝ダムが運用をはじめた今、改めて「私たち川上はかけがえのない水が作られる場に暮らすものとして、下流にはいつもきれいな水を流します。」から始まる川上宣言の思いのバトンをつなげてゆければと思います。



ミカエリソウ

みんなで考えよう！川上村の環境

その29 ～環境への取組みやご意見・アイデアをお寄せください！～

川上村環境基本条例に基づいた『環境基本計画』が策定され、2年が経とうとしています。

環境保全事業が、より一層充実したものとしていくためにも！

普段、皆さんが生活の中で気をつけている環境への取組み・ご意見など、どんな些細なことでも結構です。ご意見やアイデアをお寄せください。

【問い合わせ先】
役場生活環境課
TEL 52・0111



村では、計画を具体化する

活動推進目標を掲げました。

1. 自慢の種（自然資源）を守り育みます。
2. 自慢の種と調和する快適・安全な環境を育みます。
3. 持続可能な仕組みを育みます。
4. 地球環境に対する人類の働きかけの素晴らしい見本になることをめざします。

これら4つの達成に向けて、「不法投棄の撤去・未然防止や焼却炉の撤去、ごみの分別・再利用、合併処理浄化槽の設置補助金、アクリルたわし教室など」さまざまな事業を通じて環境保全を進めています。

臨時職員を募集します！

- 業務内容** 処分が困難で放置された家庭用小型焼却炉を撤去するために調査・解体・収集・運搬など
- 募集対象** 村内在住で失業中の方や職をお探しの方
- 雇用期間** 平成25年1月7日～3月29日
- 採用人員** 2名（調査・解体・収集・運搬作業）
- 就業時間** 原則として8：30～16：30（月に20日程度）
- 賃 金** 《調査・整理》
時給1,143円×7時間
《解体・収集・運搬》
時給1,875円×7時間
- 通勤手当** 通勤距離に応じて支給
- その 他** 社会保険・雇用保険あり
- 送 付 先** （送付先）〒639-3594 川上村大字迫1335番地の7 川上村役場生活環境課
- 提出書類** ①履歴書（写真縦4cm×横3cm 1枚添付）
②離職が確認できる書類（雇用保険受給資格証など）
※郵送の場合は「臨時職員申込」と封筒に明記し、特定記録郵便で送付してください。
- 募集期間** 平成24年11月19日（月）～29日（木）までの8：30～17：15
※土・日曜日、祝日は閉庁により受付できません。
- 【申し込み・問い合わせ先】** 役場生活環境課 TEL 52-0111



解体された小型焼却炉

こんにちは
保健婦です



9月11日～13日に村内3箇所
実施しました総合検診において今
年度は、314名の方が受診され
ました。その内、特定健康診査
(ミニ基本健診含む)を受診され
た方は197名でした。

健診の結果内訳としては、

「異常なし」…20名

「要指導」…59名

「要医療」…118名

という結果で、約90%が生活改善
や医療が必要という方でした。

「要指導」では血糖値の高い方
が、「要医療」では血圧の高い方
が最も多い結果となっています。

特定健診を受診した75歳未満の
方には腹囲測定を実施し、メタボ
リックシンドローム(内臓脂肪症
候群)の判定を行いました。

メタボリックシンドロームは、
内臓に脂肪が蓄積するタイプの肥
満に「高血圧」「高血糖」「脂質異

常」という状態が重複した状態を
いいます。これらは自覚症状がな
いままに動脈硬化を進行させ心筋
梗塞や脳卒中を起こしやすくなり
ます。

自分では健康だと思っ
ていても身体の中では静かに病気が進行し
ているかもしれません。そのた
め、毎年の検診の受診が大切で
す。

病院にかかっている方も検診は
大切です。身体全体の健康チェッ
クのために総合検診を受診して
ください。

自身の健康状態に関心を持ち、
毎日をいきいきと過ごせるよう
心がけたいですね。

「吉野川紀の川中下流域の農業を知る」企画第4弾

大和平野の農業と新米と とれたて野菜

と き 平成24年11月26日(月) 9:00~15:00

ところ 大和平野土地改良区、奥明日香さらら

定員 50名 参加費 1,000円

【問い合わせ・申し込み先】

森と水の源流館 TEL 52-0888



神武東征ルート等について分かりやすく解説いただきました

村立図書館・森と水の源流館 開館10周年記念【自然×歴史】フォーラム
『古事記にうつる源流の郷』
神武東征と紀元二千六百年

10月21日に、やまぶきホール(宮の平)
で三浦佑之先生(立正大学)を講師に招き
講演会が行われました。会場には約180
名が参加し、古事記の世界に思いを馳せま
した。

本年が古事記編纂から1300年という
節目の年であり、全国でさまざまな記念行
事が行われています。本村井光には、古事
記に登場する「井氷鹿の井戸」跡と伝えら
れる場所があります。このことにも触れつ
つ、興味深い講演となりました。



井戸跡(井光)にて三浦先生

記紀として併記される「古事記」と「日本書紀」。しかし、歴史書的な日本書紀に比べ、古事記は物語的な要素が多く、その解釈などに多くの方の興味を引き付けています。ホールには熱心な古事記ファンが集い、ペンを片手に講演前から資料を熟読する多数の参加者が見受けられました。

なお今回の講演は、社団法人近畿建設協会の支援を受け、国交省や奈良県、環境省、吉野川紀の川流域協議会、一般財団法人奈良県ビジターズビューローなど多くの後援、奈良21世紀フォーラムの協力を得て実施させていただきました。

国民年金基金加入のおすすめ 国民年金にゆとりをプラス 自分で選べる公的な個人年金

国民年金基金は、国民年金に基づいて運営されている公的な個人年金です。安心してご加入いただけますし、税法上の優遇措置もあります。

なお、加入できる方は、国民年金を納めている（国民年金保険料を免除されている方を除く）60歳未満の第1号被保険者です。

【問い合わせ先】

奈良県国民年金基金 TEL 0742-36-5761
フリーダイヤル TEL 0120-65-4192

のびっ子広場

とき 平成24年11月15日（木）
午前10時～11時30分

ところ やまぶき保育園（宮の平）

内容 「リズムで遊ぼう」

【問い合わせ先】

やまぶき保育園 TEL 52-0019
役場住民福祉課 TEL 52-0111

らくらく元気塾

健康は誰にとっても大きな関心事ですが、日々の忙しさでついつい後回しになってしまいがちです。

自分の生活を振り返り、みんなで楽しく健康づくりに取り組んでみませんか？

ご希望の方は、11月20日（火）までに役場住民福祉課までお申し込みください。

とき ①11月22日（木） } 13:00～15:00
②11月28日（水） } ※受付12:45
③12月4日（火） } ~13:00
④12月11日（火） }

ところ 総合センター2階 研修室

持参する物 筆記用具、タオル

内容 ★身体・体力測定
★楽しく体を動かしましょう
★お口の体操
★食事のポイント

【問い合わせ・申し込み先】

役場住民福祉課 TEL 52-0111

統計調査員募集

《期間 12月28日まで》

各種統計調査員の候補者となる登録調査員を募集します。登録者は統計調査員研修等に参加し、資質向上に努めていただきます。ただし、統計調査への従事を約束するものではありません。

応募資格

①村内に居住または勤務する20歳以上65歳未満で調査活動ができる方

②調査で知り得た秘密を洩らさず、責任を持って調査活動に取り組める方

【問い合わせ先】

役場総務課 TEL 52-0111

身の周りでこんなことはありませんか？

交通事故や傷害などの被害にあったのに、犯罪を告訴・告発したのに、検察官が犯人を裁判にかけてくれない！

そんな時は、検察審査会事務局に来てください。

相談・申し立ては無料。秘密もかたく守られます。

【問い合わせ先】

葛城検察審査会事務局 TEL 0745・52・1012（代表）
〒635の8502 大和高田市大101の4 奈良地方裁判所葛城支部内

12月10日は「人権デー」

12月4日～10日は「人権週間」

《特設人権相談所を開設》

とき 平成24年12月5日（水）

午前10時～午後3時

ところ 役場書籍室

国際連合は、昭和23年の第3回総会で世界人権宣言が採択されたのを記念し、第5回総会において採択日の12月10日を「人権デー（Human Rights Day）」と決めました。

また、法務省と全国人権擁護委員連合会は、毎年、関係機関等の協力を得て、「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定めています。

【問い合わせ先】

役場住民福祉課 TEL 52-0111

川上村役場職員【保健師】【保育士】【技術職】を募集します

募集種目 採用人員	受 験 資 格 等
①保健師 1名	<p>職務内容 本庁等に勤務し、保健衛生事務に従事します。</p> <p>受験資格 昭和47年4月2日以降に生まれた方で、保健師資格を有する方 ※平成25年3月末までに取得見込みの方を含みますが、資格を取得できなかった場合は、この試験に合格されても採用を取り消します。</p>
②保育士 1名	<p>職務内容 やまぶき保育園に勤務し、乳幼児の保育事務に従事します。</p> <p>受験資格 昭和47年4月2日以降に生まれた方で、保育士資格を有する方 ※平成25年3月末までに取得見込みの方を含みますが、資格を取得できなかった場合は、この試験に合格されても採用を取り消します。</p>
③技術職 1名	<p>職務内容 本庁等に勤務し、要資格の専門事務及び一般事務に従事します。</p> <p>受験資格 昭和37年4月2日以降に生まれた方で、次の要件を満たす方 ◆測量士または測量士補免許を有し、国や地方公共団体において測量士として10年以上（測量士補の場合は15年以上）の勤務経験または、民間企業等において国や地方公共団体の請負業務を測量士として10年以上（測量士補の場合は15年以上）の実務経験がある方</p>

※地方公務員法第16条に規定する欠落事項に該当する方は受験できません。

☆試験日や受験手続等（①保健師 ②保育士 ③技術職 共通）

試 験 内 容	日 時	場 所
《1次試験》事務適正検査・職場適応性検査	平成24年12月16日（日）9：00から	川上村役場
《2次試験》面 接	平成25年1月中旬	

◎採用年月日 平成25年4月1日

◎受験手続

（1）受験申込書

川上村役場総務税務課で受け取るか、川上村ホームページからダウンロードしてください。

（2）申込方法・提出書類

川上村役場総務税務課へ直接提出するか、「特定記録郵便」など配送が記録される方法で『川上村役場総務税務課採用試験係』宛てに郵送してください。

◆提出書類 受験申込書（村指定様式）、写真1枚、資格・免許に関する書類の写し

◆郵送先 〒639-3594 川上村大字迫1335番地の7 川上村役場総務税務課採用試験係

（3）受験申込受付期間

平成24年11月12日（月）～11月30日（金）※30日付けの消印有効。

（4）受験票の交付

申込受付期間後、受験票を郵送します。試験当日に必ず持参してください。

（5）個人情報の取り扱いについて

提出書類一式は採用試験についてのみ使用し、適正に管理した後、川上村において破棄しますので返却しません。

【問い合わせ先】役場総務税務課（採用試験係）TEL 52-0111

俳句

川上俳句会

藤本安騎生選

特選 立ってしゃがんで隠元の終ひ採る
 [評] 隠元豆の最後の搥りが中七までによく詠まれている。丹

精に育てた隠元への思いもある。

特選 新米といふおにぎりに五人の手
 [評] 新米もいち早く収穫された新米。その新米のおにぎりを

囲む五人の俵せそうな顔。

佳作 大雨の警報解かれ星月夜
 些事多きことも俵せ月仰ぐ
 入選 夕月や孫等とハモルわらべ唄

曾爾村吟行

特選 穂田の鹿垣しかと閉めてあり
 新子谷生子(北和田)

高原の露店見なれぬ茸売る
 辻井 清子(大滝)

見晴らしのきく尾根に来て葉掘る
 前田 景子(大滝)

屋敷神祀る古民家水澄めり
 住川 準典(武木)

木治屋てふ屋号よろしき赤のまま
 阪本 蓉子(東川)

がまずみの実の赤くして道しるべ
 古瀬 和子(大滝)

曾爾川に落鮎残し水清く
 枅 恭子(東川)

竹藪の根元洗ひし秋出水
 竹田サダ子(大滝)



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

市町村税・県税の一斉

滞納整理強化期間 11月・12月

今年の11月・12月は、税の公平性を確保し、納税者の信頼を守るため、全市町村と奈良県が一丸となって捜索・差し押さえ・公売等の滞納整理を強化して実施する、「市町村税・県税の一斉滞納整理強化期間」です。

催告書

あなたの滞納されている税については、催告してまいりましたが未だに納付されていません。直ちに納付してください。

11月・12月は、税の公平性を確保し、納税者の信頼を守るため、全市町村と県が一丸となって捜索・差し押さえ・公売等の滞納整理を強化して実施する、「市町村税・県税の一斉滞納整理強化期間」です。

このまま納付されない場合は、あなたの財産(預金・給与・不動産・生命保険・自動車等)について、差し押さえ等を執行することがありますので、ご注意ください。

平成24年11月・12月

市町村税・県税の一斉滞納整理強化期間



本書と行き違いで納付いただきました際は、あしからずご了承ください。

この催告書が届いている場合は、あなたの財産(預金・給与・不動産、生命保険、自動車等)について、差し押さえ等を執行することがありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】 役場総務課 税務課 TEL 52・0111

国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料(5期)の納期限は11月30日(金)です。

納期限までに納めましょう。

平成25年2月15日までに口座振替の登録をいただいた方から抽選で「ホテル杉の湯などで使える商品券」があたるキャンペーンを実施しています。この機会に便利な口座振替もご利用ください。

【問い合わせ先】 役場住民福祉課 TEL 52・0111

「大丈夫」

その過信が 命取りに！

自然災害などによる最近の被害では、情報伝達や避難行動の遅れが高齢者の被害を大きくしています。「避難場所は知っている」「自分だけは大丈夫」などと過信せず、改めて防災に関する知識や情報を見直してみましょう。

高齢者の方が安全に 避難する3原則

- ◆正しい情報を早めにつかむ。
 - ◆周囲の人と協力する。
 - ◆早めに避難する。
- 以上の3つが重要です。

吉野広域行政組合消防本部
TEL 0746-32-1011



川上村の小さな生きものたち



アキアカネ (7)

トンボ目トンボ科のアキアカネは、動揺「赤とんぼの」モデルとされています。盛夏は標高の高い山頂部などで過ごし、秋が近づくと標高の低いところへ移動していきます。水田などアキアカネの幼虫（ヤゴ）が育つ環境の少ない川上村でも、7月頃から標高400m付近の林道などで見かけるようになります。真夏になると1000m付近でも見かけます。この頃には少し赤みの増した個体が見られ、秋風が吹き出す頃には林道や沢から姿を消します。いったいどの辺りの田んぼで産卵するのでしょうか、翅にマーキングして調べて見たいテーマですね。

写真・文 伊藤ふくお

かわかみの草花



タカネハシロツツシ

(高嶺半鐘蔓)

つる性植物で低山の林縁などに生える。花卉のように見えるのは萼片である。花は淡紅紫色で外側の縁に白毛がある。

花期 9月～10月

村の人口

10月31日現在

人口総数 1,714人 (-11人)
男 809人 (-5人)
女 905人 (-6人)
世帯数 890世帯 (±0世帯)

10月中の異動

転入 2人 転出 10人
出生 0人 死亡 3人

TEL 0747・22・3789
自衛隊五條地域事務所

**自衛官を
募集しています！**
【問い合わせ先】

20万円 泉谷 隆夫(中奥)
亡父の供養として

10万円 杉本 和子(西河)
亡夫の供養として

社会福祉協議会へ次の方から
善意が寄せられました(敬称略)

南 幸子(西河) 10月29日 74歳

辻村 貞雄(高原) 10月16日 93歳

おくやみ (敬称略)